

2015年10月20日

神戸市長
久元 喜造様

神戸再生フォーラム
代 表 竹山 清明
事務局長 高田 富三

公開質問状

「自民党神戸」会派による政務活動費の不正取得・不正使用問題が明らかになり、市長は7月15日以降の定例会見の都度ご意見を述べておられます。

一方、神戸市民は市議会からは納得いくような説明がなされず、今後このようなことは起きないと確信を持つことができない状況が続いています。

政務活動費は、条例に基づき神戸市のお金が使われています。市民のお金が使われたともいえます。

神戸市民の代表であり神戸市を代表する市長に、下記の通り質問いたします。お忙しいとは存じますが、お考えをお聞かせください。

いただきましたら、記者会見などの方法によりひろく神戸市民に知っていただく予定であることを申し添えます。

記

I.政務活動費に関して

1. 政務活動費について、市民はまだ全貌が明らかにならない、今後も起こるのではないかと危惧していますが、市長の認識はいかがでしょうか。
2. 全貌解明に至っていないとするならば、その原因を何と考えますか。
 - (1) 議会がなすべきこと（例えば100条委員会の設置等）をしていないからでしょうか。
 - (2) 議会がなすべきことをしているにもかかわらず、限られた議会の手では真相究明の方法に限界があるからでしょうか。
 - (3) その他原因として何が考えられますか。

3. 今回発生した手法（第3者にお金を預ける）は、それほど特殊なものではない為、市民は他の会派でもやっているのではと疑念を持ち、他の会派の中身の見直しも望んでいます。市長はいかがでしょうか。
4. 本来、市議会内での事件である為、なかなか市長が介在しづらい事情はありますが、市民のお金が不正に引き出されたゆえ、それが分かった時点で、市議会の動きとは別に市民の為に市独自の行動を取るべきではなかったでしょうか。

例えば、市議会は告発で対応しているが、市は直接の被害者として告訴という手続きを取るべきではなかったでしょうか。

取らなかった理由をお聞かせください。
5. 市長の経歴を踏まえると、市長に就任するにあたり、このようなことは予測できなかったでしょうか。

予測ができたとするならば、解決にあたり市長としてどのように関与するかを考えておられましたか。

市長のこれまでの現実対応は十分と考えますか。

Ⅱ.市長の政治資金パーティー券購入に政務活動費が流用されたことについて

市民は、9月29日の定例記者会見が新聞報道された時点で、市長の政治資金パーティー券購入に政務活動費が流用されたことを知りました。

その経緯について、市民が納得いくような形でしっかりと説明を求めます。

1. 政治資金パーティー券が購入された経緯について
 - (1) 自民党神戸の誰が何年何月何日頃、購入を求めてきましたか。
 - (2) 後援会ではどのような立場の人が対応しましたか。
 - (3) 入金は何月何日ですか。決済は現金ですか、振込ですか。
 - (4) 後援会の内部には、自民党神戸のお金が政務活動費を流用されたものを知りうる人はいませんでしたか。例えば、自民党神戸の関係者など。
2. 政務活動費が流用されたことを市長が知って以降

- (1) 政務活動費が流用されたことを市長が知ったのは何月何日ですか。
- (2) 後援会が知ったのは何月何日ですか。
- (3) 市長は「そういう事実があるということを、私の責任で公表（９月２９日定例会見より）」と言われますが、それはいつ、どのような公表の方法をとられましたか。

なお、市民が知ったのは９月２９日定例会見の報道が初めてです。

3. 茨城県常総市への義援金口座への寄付について

当該行為は、「論理的に見て正しい対応」か、「政治資金規正法の趣旨にかなっている」か、議論の余地はないと考えます。筋違いとしか言えません。

この方法は、単に市長が「なんらかの形でこれを解消したい」という自分の気持ちの区切りをつける為の便法ではないでしょうか。

むしろ、今後開かれる政治資金パーティーやその他の活動費を受け入れる際にどのような手段を講じるかを明らかにすべきと考えますが、いかがでしょうか。

以上